



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和7年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

# 積算書

(当初)

九州農政局  
北部九州土地改良調査管理事務所

















事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務					
業務別業務名: 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	*** S単-1号 *** 資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	5,455,500		歩A・単A
S63003	*** S単-2号 *** 現地調査(内業) 設計労務(直接人件費内業)		式	2,693,500		歩A・単A
S63003	*** S単-3号 *** 対象施設の選定(スクリーニング) 設計労務(直接人件費内業)		式	4,501,800		歩A・単A
S63003	*** S単-4号 *** ダム安全性評価委員会資料の作成 設計労務(直接人件費内業)		式	5,207,000		歩A・単A
S63003	*** S単-5号 *** 点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	399,800		歩A・単A
S63007	*** S単-6号 *** 現地調査(外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	1,750,000		歩A・単A
S63007	*** S単-7号 *** 現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式	437,500		歩A・単A
S63010	*** S単-8号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.18日		回	86,020		歩A・単A
S63010	*** S単-9号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.18日		回	73,508		歩A・単A
S63011	*** S単-10号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,一般交通機関,0日,,L<100km(100km未満)		回	3,124		歩A・単A
S63011	*** S単-11号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,通勤により打合せ,,一般交通機関,0日,,L<100km(100km未満)		回	3,124		歩A・単A
S63017	*** S単-12号 *** 旅費交通費宿泊(多良岳) 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,0.50日,2日,4時間,あり,100km≤L(100km以上)		式	116,073		歩A・単A
S63017	*** S単-13号 *** 旅費交通費宿泊(大野川上流地区) 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,0.50日,2日,4時間,あり,100km≤L(100km以上)		式	40,323		歩A・単A
S63018	*** S単-14号 *** 旅費交通費日帰り(耳納山麓地区) 旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,1日,2時間		式	6,126		歩A・単A
S63018	*** S単-15号 *** 旅費交通費日帰り(嘉瀬川地区) 旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,1日,3時間		式	3,305		歩A・単A
S63018	*** S単-16号 *** 旅費交通費日帰り(上場地区) 旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,3日,3時間		式	26,276		歩A・単A
S63023	*** S単-17号 *** 電子納品版業務報告書作成 電子納品版業務報告書作成 1,A-4,1000,10cm,0		式	13,539		歩A・単A
T00001	*** T単-1号 *** 移動に係る直接人件費 現地調査		式	437,500		歩A・単A

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

業務別業務名: 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単- 1号 ***						
S63003	資料の検討		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	15.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	30.00人				
	5)技師Bの人数	30.00人				
	6)技師Cの人数	30.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	15.000	人	66,900	1,003,500	
R04004	技師 (A)	30.000	人	59,600	1,788,000	
R04005	技師 (B)	30.000	人	48,500	1,455,000	
R04006	技師 (C)	30.000	人	40,300	1,209,000	
	合 計				5,455,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		5,455,500	
*** S単- 2号 ***						
S63003	現地調査 (内業)		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	10.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	15.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	10.000	人	66,900	669,000	
R04004	技師 (A)	15.000	人	59,600	894,000	
R04005	技師 (B)	15.000	人	48,500	727,500	
R04006	技師 (C)	10.000	人	40,300	403,000	
	合 計				2,693,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,693,500	
*** S単- 3号 ***						
S63003	対象施設の選定 (スクリーニング)		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	10.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	28.00人				
	5)技師Bの人数	28.00人				
	6)技師Cの人数	20.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	10.000	人	66,900	669,000	
R04004	技師 (A)	28.000	人	59,600	1,668,800	
R04005	技師 (B)	28.000	人	48,500	1,358,000	
R04006	技師 (C)	20.000	人	40,300	806,000	
	合 計				4,501,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		4,501,800	
*** S単- 4号 ***						

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

業務別業務名: 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	ダム安全性評価委員会資料の作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	10.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	15.00人				
	5)技師Bの人数	20.00人				
	6)技師Cの人数	35.00人				
	7)技術員の数	35.00人				
R04003	主任技師	10.000	人	66,900	669,000	
R04004	技師 (A)	15.000	人	59,600	894,000	
R04005	技師 (B)	20.000	人	48,500	970,000	
R04006	技師 (C)	35.000	人	40,300	1,410,500	
R04007	技術員	35.000	人	36,100	1,263,500	
	合計				5,207,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		5,207,000	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の数	1.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師 (A)	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師 (B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 (C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	1.000	人	36,100	36,100	
	合計				399,800	算出数量 1,000 式
	単 価		式		399,800	
	*** S単- 6号 ***					
S63007	現地調査 (外業) 設計労務(直接人件費外業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	10.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	10.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	10.000	人	66,900	669,000	
R04004	技師 (A) 外業	10.000	人	59,600	596,000	
R04005	技師 (B) 外業	10.000	人	48,500	485,000	
	合計				1,750,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,750,000	
	*** S単- 7号 ***					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

業務別業務名: 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63007	現地調査		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.50人				
	5)技師Bの人数	2.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	2,500	人	66,900	167,250	
R04004	技師(A)					
	外業	2,500	人	59,600	149,000	
R04005	技師(B)					
	外業	2,500	人	48,500	121,250	
	合計				437,500	算出数量 1,000 式
	単価		式		437,500	
	*** S単- 8号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.18日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.180日				
R04003	主任技師					
		0.680	人	66,900	45,492	
R04004	技師(A)					
		0.680	人	59,600	40,528	
	合計				86,020	算出数量 1,000 回
	単価		回		86,020	
	*** S単- 9号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.18日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.180日				
R04004	技師(A)					
		0.680	人	59,600	40,528	
R04005	技師(B)					
		0.680	人	48,500	32,980	
	合計				73,508	算出数量 1,000 回
	単価		回		73,508	
	*** S単- 10号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,一般交通機関,0日,,L<100km(100km未満)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

業務別業務名: 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	5) 技師B配置人員	0人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.18日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	一般交通機関				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	0円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	1,562円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18) ライトバン使用日数	0日				
	20) 往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	1,562	3,124	
	合計				3,124	算出数量 1.000 回
	単価		回		3,124	
	*** S単- 11号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 中間, 通勤により打合せ, , 一般交通機関, 0日, , L < 100km (100km未満)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種				
	2) 打合せ内容	中間				
	3) 主任技師配置人員	0人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	1人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.18日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	一般交通機関				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	0円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	1,562円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18) ライトバン使用日数	0日				
	20) 往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	1,562	3,124	
	合計				3,124	算出数量 1.000 回
	単価		回		3,124	
	*** S単- 12号 ***					
S63017	旅費交通費宿泊 (多良岳)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間, あり, 100km ≤ L (100km以上)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 宿泊地	乙地				
	2) 交通機関区分	ライトバン				
	3) 高速道路往復料金 (税別)	4,836円				
	4) 鉄道往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	5) バス往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	6) 船舶往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	7) 航空往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	8) 往復移動日数	0.50日				
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	4時間				
	11) 補正区分	あり				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	4.000日				
	14) 技師A外業日数	4.000日				
	15) 技師B外業日数	4.000日				
	16) 技師C外業日数	0.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km ≤ L (100km以上)				
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地) 消費税抜き (7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (4級相当)	1.000	人	8,909	8,909	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

業務別業務名: 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	3.000	人	8,354	25,062	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	3.000	人	8,354	25,062	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	3.000	人	8,354	25,062	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	4,836	4,836	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	21.600	L	166	3,586	
	合計				116,073	算出数量 1.000 式
	単価		式		116,073	
	*** S単- 13号 ***					
S63017	旅費交通費宿泊 (大野川上流地区)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間, あり, 100km ≤ L (100km以上)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 交通機関区分	ライトバン		深夜時間: 0.0		
	3) 高速道路往復料金 (税別)	4,272円				
	4) 鉄道往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	5) バス往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	6) 船舶往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	7) 航空往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	8) 往復移動日数	0.50日				
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	4時間				
	11) 補正区分	あり				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	1.000日				
	14) 技師A外業日数	1.000日				
	15) 技師B外業日数	1.000日				
	16) 技師C外業日数	0.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km ≤ L (100km以上)				
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地) 消費税抜き (7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (4級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	4,272	4,272	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	21.600	L	166	3,586	
	合計				40,323	算出数量 1.000 式
	単価		式		40,323	
	*** S単- 14号 ***					
S63018	旅費交通費日帰り (耳納山麓地区)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業日帰り) ライトバン, 1日, 2時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 交通機関区分	ライトバン		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 高速道路往復料金 (税別)	3,580円		深夜時間: 0.0		
	3) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	4) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	5) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	6) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	7) ライトバン使用日数の入力	1日				
	8) 時間区分	2時間				
	9) 設計用技師長外業日数	0.000日				
	10) 設計用主任技師外業日数	1.000日				
	11) 設計用技師A外業日数	1.000日				
	12) 設計用技師B外業日数	1.000日				
	13) 設計用技師C外業日数	0.000日				
	14) 設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	3,580	3,580	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	5.400	L	166	896	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

業務別業務名: 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				6,126	算出数量 1,000 式
	単価		式		6,126	
	*** S単- 15号 ***					
S63018	旅費交通費日帰り (嘉瀬川地区)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業日帰用) ライトバン, 1日, 3時間					時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし
	1) 交通機関区分	ライトバン				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0
	2) 高速道路往復料金 (税別)	0円				
	3) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	4) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	5) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	6) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	7) ライトバン使用日数の入力	1日				
	8) 時間区分	3時間				
	9) 設計用技師長外業日数	0.000日				
	10) 設計用主任技師外業日数	1.000日				
	11) 設計用技師A外業日数	1.000日				
	12) 設計用技師B外業日数	1.000日				
	13) 設計用技師C外業日数	0.000日				
	14) 設計用技術員外業日数	0.000日				
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	8,100	L	166	1,345	
	合計				3,305	算出数量 1,000 式
	単価		式		3,305	
	*** S単- 16号 ***					
S63018	旅費交通費日帰り (上場地区)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業日帰用) ライトバン, 3日, 3時間					時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし
	1) 交通機関区分	ライトバン				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0
	2) 高速道路往復料金 (税別)	5,454円				
	3) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	4) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	5) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	6) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	7) ライトバン使用日数の入力	3日				
	8) 時間区分	3時間				
	9) 設計用技師長外業日数	0.000日				
	10) 設計用主任技師外業日数	3.000日				
	11) 設計用技師A外業日数	3.000日				
	12) 設計用技師B外業日数	3.000日				
	13) 設計用技師C外業日数	0.000日				
	14) 設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	3,000	式	5,454	16,362	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	3,000	日	1,960	5,880	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	24,300	L	166	4,034	
	合計				26,276	算出数量 1,000 式
	単価		式		26,276	
	*** S単- 17号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A-4, 1000, 10cm, 0					時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし
	1) 報告書部数 (部)	1,000				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0
	2) 規格区分	A-4				
	3) 枚数区分 (枚)	1000				
	4) 厚さ区分	10cm				
	5) CD-R枚数 (枚)	0.000				
P43504	報告書焼付代 (コピー) A-4以下 1000枚	1,000	部	12,750	12,750	
P43544	簡易加除式ファイル A4縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)	1,000	冊	789	789	
P43602	CD-R CD-R (記録面色素フタロシアニン) 700MB	0.000	枚	47	0	





令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

特 別 仕 様 書

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

# 第 1 章 総 則

## (適用範囲)

第 1-1 条 令和 7 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

## (目 的)

第 1-2 条 本業務は、国営土地改良事業で造成された耳納山麓地区、嘉瀬川地区、多良岳地区、上場地区及び大野川上流地区に係る 10 ダムの付帯施設について、耐震性能照査が必要な対象施設の選定（スクリーニング）を行うものである。

## (場 所)

第 1-3 条 本業務において対象とする施設の場所は、福岡県うきは市浮羽町小塩、佐賀県佐賀市富士町大字藤瀬、佐賀県鹿島市大字音成、佐賀県鹿島市大字飯田、佐賀県鹿島市大字山浦、佐賀県唐津市肥前町大字赤坂、佐賀県唐津市肥前町大字新木場、佐賀県東松浦郡玄海町麩木、佐賀県東松浦郡玄海町長倉及び熊本県阿蘇郡産山村山鹿地内で、別添位置図に示すとおりである。

## (土地の立入り等)

第 1-4 条 作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第 1-16 条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

## (一般事項)

第 1-5 条 業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は、作業実施順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めた時は速やかにこれに応じるものとする。

## (管理技術者)

第 1-6 条 管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条 第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学 建設－鋼構造及びコンクリート
	農 業	農業土木 農業農村工学
	建 設	鋼構造及びコンクリート
博士	当該業務に関連する学術部門	－
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	－
	鋼構造及びコンクリート	－

(担当技術者)

第1-7条 担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-8条 共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第1-9条 受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1条 本業務の基本的事項に関しては、次の図書を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改定)年月
1	土地改良事業計画設計基準・設計「ダム」技術書	農林水産省農村振興局	平成15年4月
2	国営造成農業用ダム耐震照査マニュアル	農林水産省農村振興局	平成24年3月
3	農業用ダム付帯設備耐震性能照査マニュアル	農林水産省農村振興局 整備部設計課	令和4年2月
4	電気設備計画設計技術指針（高低圧編）	農林水産省農村振興局	令和元年9月
5	土地改良事業計画設計指針（耐震設計）	農林水産省農村振興局 整備部	平成27年2月

(作業条件)

第2-2条 本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員と十分打合せを行い手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 現地調査を行う時期の詳細は、監督職員と打合せを行った後、実施するものとする。
- (4) 現地調査の結果、新たに仮設等が必要となった場合は監督職員と協議する。

(対象施設)

第2-3条 本業務の対象施設は、【別紙1】調査対象施設諸元及び【別紙2】耐震性能照査選定対象施設一覧表に示すとおりであり、ダム付帯設備は以下のとおり想定している。

- (1) 取水設備及び洪水吐以外の放流設備（鋼製又は鉄筋コンクリート製）
- (2) 洪水吐水路（鉄筋コンクリート又は無筋コンクリート製）
- (3) 洪水吐ゲート
- (4) 洪水吐天端橋梁

- (5) 管理棟・操作室（建築構造物）
- (6) 操作管理設備（電気設備、通信設備、警報設備等）

(参考図書)

第2-4条 本業務で参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改定)年月
1	農業用ダム機能診断マニュアル	農林水産省農村振興局	令和元年7月
2	大規模地震に対するダム耐震性能照査指針(案)・同解説	国土交通省河川局	平成17年3月
3	道路橋示方書・同解説（V耐震設計編）	(公社) 日本道路協会	平成29年11月
4	河川構造物の耐震性能照査指針・解説－IV. 水門・樋門及び堰編－	国土交通省水管理・国土保全局治水課	令和2年2月
5	ダム・堰施設技術基準（案）	(一社) ダム・堰施設技術協会	平成28年3月
6	建築設備耐震設計・施工指針	(一財) 日本建築センター	平成26年9月
7	配電盤・制御盤の耐震設計指針	(一社) 日本電機工業会	平成29年3月
8	(平成25年度制定)官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説 令和3年度版	(一社) 公共建築協会	令和3年2月

(貸与資料)

第2-5条 貸与資料は、次のとおりである。

分 類	資 料 名	数 量
現況関係資料	事業誌、ダム技術誌（赤坂ダム、上倉ダム、藤ノ平ダム、大蘇ダム）、施設管理図	1式
過年度業務成果物	【耳納山麓/合所ダム】 平成24年度 国営造成水利施設保全対策指導事業 耳納山麓地区合所ダム付帯施設機能保全検討業務報告書	1式
〃	平成25年度国営施設機能保全事業 耳納山麓地区(合所ダム)耐震性照査業務報告書	1式
〃	【嘉瀬川/北山ダム】 平成20年度 国営造成水利施設保全対策指導事業 嘉瀬川上流地区施設機能診断業務報告書	1式
〃	平成30年度嘉瀬川上流農地防災事業 北山ダム耐震性能照査その他業務報告書	1式
〃	【多良岳/花取ため池、笹原ため池、七曲ため池、万才ため池】 平成24年度国営造成水利施設保全対策指導事業 多良岳地区施設機能保全業務報告書	1式
〃	平成25年度国営造成水利施設保全対策指導事業 多良岳地区（七曲・万才ため池）機能保全検討業務	1式
〃	平成30年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 多良岳地区花取ため池耐震性能検証業務	1式

”	令和3年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 多良岳地区ため池群健全性検討業務報告書	1式
”	令和4年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 多良岳地区ため池群耐震性能検証業務報告書	1式
”	【上場/赤坂ダム、上倉ダム、藤ノ平ダム】 平成25年度 国営施設機能保全事業 上場地区(藤ノ平ダム)耐 震性能照査業務報告書	1式
”	令和3年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 上場地区赤坂ダム耐震性能照査業務報告書	1式
”	令和3年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 上場地区上倉ダム耐震性能検証業務報告書	1式
”	令和3年度地区調査上場地区機能保全計画更新他業務	1式
”	【大野川上流/大蘇ダム】 令和3年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大蘇ダム健全性照査業務報告書	1式
その他	その他業務実施上、参考となる資料	1式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-6条 第2-4条、第2-5条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用いることとし、改定された場合は、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員から請求があった場合のほか、完了検査時に一括返納しなければならない。

### 第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条 本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は【別紙3】作業項目内訳表に示す。

作業項目	数量	備考
1. 資料の検討	1式	
2. 現地調査	1式	
3. 対象施設の選定 (スクリーニング)	1式	
4. ダム安全性評価委員会幹事会資料の作成	1式	
5. 点検とりまとめ	1式	

(対象施設の選定)

第3-2条 農業用ダム付帯設備の耐震性能照査は、原則として設備が損傷した場合にダムの貯水機能、放流機能が維持されないおそれがある設備を対象とする。一方、付帯設備の特性に応じて、必ずしも全ての付帯設備について耐震性能照査を行う必要がないことから、以下を目安に農業用ダム付帯設備耐震性能照査マニュアルに基づき対象施設の選定 (スクリーニング) を実施する。

- (1) 取水設備及び洪水吐以外の放流設備：緊急放流機能の有無、利水機能の喪失が地域経済に与える影響、復旧難易度等を総合的に判断する。

- (2) 洪水吐水路：形状が特殊な場合のみ対象とする。
- (3) 管理棟・操作室及び操作管理設備：設備の構造・重要度に応じて判断する。対象施設の選定（スクリーニング）の結果、耐震性能照査を実施しないこととした施設については、非選定とした理由を整理するものとする。

(作業の留意点)

第3-3条 業務の実施あたって、特に留意する点は次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-4条、第2-5条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) ダム安全性評価委員会幹事会資料は、電子データにより、PDF形式、オリジナルデータを納品するものとする。

## 第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条 共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

- 初回 作業着手の段階
- 第2回 中間打合せ（現地調査後のスクリーニング取りまとめ方針段階）
- 第3回 中間打合せ（スクリーニング結果取りまとめ段階）
- 第4回 中間打合せ（ダム安全性評価委員会幹事会資料の作成段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

## 第5章 成果物

(成果物)

第5-1条 成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R等）正副2部
- (2) 成果物の出力1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(成果物の提出先)

第5-2条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口891-20  
九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

## 第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「作業条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第2-3条に示す「対象施設」に変更が生じた場合。
- (3) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (4) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。

- (5) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (6) 履行期間の変更が生じた場合。
- (7) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (8) その他

## 第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7-1条 この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙1】調査対象施設諸元

地区名 施設名	施設概要	備考
耳納山麓 合所ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型式：傾斜遮水型ロックフィルダム</li> <li>・総貯水量 7,660 千 m<sup>3</sup>、有効貯水量 6,700 千 m<sup>3</sup>、</li> <li>・最大取水量 3.648 m<sup>3</sup>/s、流域面積 42km<sup>2</sup>、設計洪水量 1,500m<sup>3</sup>/s</li> <li>・堤高 60.7m、堤長 270.0m、堤体積 1,318,380m<sup>3</sup></li> <li>・洪水吐形式：ゲート付シュート方式</li> <li>・取水設備：複式斜樋、放流設備：ジェットフローゲート</li> <li>・管理棟（建築構造物）：鉄筋コンクリート 2階建 1棟</li> <li>・操作管理設備 1式</li> </ul>	
嘉瀬川 北山ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型式：重力式コンクリートダム</li> <li>・総貯水量 22,250 千 m<sup>3</sup>、有効貯水量 22,000 千 m<sup>3</sup>、</li> <li>・最大取水量 13.28 m<sup>3</sup>/s、流域面積 54.63km<sup>2</sup>、設計洪水量 920.0m<sup>3</sup>/s</li> <li>・堤高 59.3m、堤長 180.0m、堤体積 145,000m<sup>3</sup></li> <li>・洪水吐形式：直線越流式（テントゲート）</li> <li>・取水設備：垂直半円型取水塔（多孔式）</li> <li>・管理棟（建築構造物）：鉄筋コンクリート 2階建 1棟</li> <li>・操作管理設備 1式</li> </ul>	
多良岳 花取ため池	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型式：均一型フィルダム</li> <li>・総貯水量 244 千 m<sup>3</sup>、有効貯水量 241.8 千 m<sup>3</sup>、</li> <li>・最大取水量 0.125 m<sup>3</sup>/s、流域面積 1.85km<sup>2</sup>、設計洪水量 4.1m<sup>3</sup>/s</li> <li>・堤高 22.5m、堤長 176.0m、堤体積 93,500m<sup>3</sup></li> <li>・洪水吐形式：側溝型式</li> <li>・取水設備：斜樋及び水中ポンプ</li> <li>・管理棟（建築構造物）：鉄筋コンクリート 1階建 1棟</li> <li>・操作管理設備 1式</li> </ul>	
多良岳 笹原ため池	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型式：ゾーン型アースフィルダム</li> <li>・総貯水量 118.3 千 m<sup>3</sup>、有効貯水量 114.9 千 m<sup>3</sup>、</li> <li>・最大取水量 0.083 m<sup>3</sup>/s、流域面積 1.91km<sup>2</sup>、設計洪水量 6.22m<sup>3</sup>/s</li> <li>・堤高 22.9m、堤長 176.0m、堤体積 84,700m<sup>3</sup></li> <li>・洪水吐形式：側水路型</li> <li>・取水設備：斜樋及び水中ポンプ</li> <li>・管理棟（建築構造物）：鉄筋コンクリート 1階建 1棟</li> <li>・操作管理設備 1式</li> </ul>	
多良岳 七曲ため池	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型式：均一型アースフィルダム</li> <li>・総貯水量 69 千 m<sup>3</sup>、有効貯水量 66 千 m<sup>3</sup>、</li> <li>・最大取水量 0.078 m<sup>3</sup>/s、流域面積 2.05km<sup>2</sup>、設計洪水量 13.9m<sup>3</sup>/s</li> <li>・堤高 15.3m、堤長 133.0m、堤体積 24,800m<sup>3</sup></li> <li>・洪水吐形式：側溝型式</li> <li>・取水設備：斜樋及び水中ポンプ</li> <li>・管理棟（建築構造物）：鉄筋コンクリート 1階建 1棟</li> <li>・操作管理設備 1式</li> </ul>	

<p>多良岳 万才ため池</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型式：均一型アースフィルダム</li> <li>・総貯水量 113.7 千 m<sup>3</sup>、有効貯水量 109.7 千 m<sup>3</sup></li> <li>・最大取水量 0.087 m<sup>3</sup>/s、流域面積 0.57km<sup>2</sup>、設計洪水量 20.6m<sup>3</sup>/s</li> <li>・堤高 18.9m、堤長 128.0m、堤体積 47,800m<sup>3</sup></li> <li>・洪水吐形式：側水路型</li> <li>・取水設備：斜樋</li> <li>・管理棟（建築構造物）：鉄筋コンクリート 1階建 1棟</li> <li>・操作管理設備 1式</li> </ul>	
<p>上場 赤坂ダム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型式：中心遮水ゾーン型ロックフィルダム</li> <li>・総貯水量 1,460 千 m<sup>3</sup>、有効貯水量 1,450 千 m<sup>3</sup></li> <li>・最大取水量 0.518 m<sup>3</sup>/s、流域面積 0.38km<sup>2</sup>、設計洪水量 19.0m<sup>3</sup>/s</li> <li>・堤高 30.5m、堤長 256.4m、堤体積 274,000m<sup>3</sup></li> <li>・洪水吐形式：シュート型</li> <li>・取水設備：ドロップインレット、放流設備：ジェットフローゲート</li> <li>・操作管理設備 1式</li> </ul>	
<p>上場 上倉ダム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型式：均一型フィルダム（前面コア型）</li> <li>・総貯水量 804 千 m<sup>3</sup>、有効貯水量 793 千 m<sup>3</sup></li> <li>・最大取水量 1.048 m<sup>3</sup>/s、流域面積 0.44km<sup>2</sup>、設計洪水量 21.7m<sup>3</sup>/s</li> <li>・堤高 19.6m、堤長 196.8m、堤体積 90,300m<sup>3</sup></li> <li>・洪水吐形式：標準曲線型</li> <li>・取水設備：斜樋、放流設備：ジェットフローゲート</li> <li>・操作管理設備 1式</li> </ul>	
<p>上場 藤ノ平ダム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型式：中心遮水ゾーン型ロックフィルダム</li> <li>・総貯水量 3,518 千 m<sup>3</sup>、有効貯水量 3,128 千 m<sup>3</sup></li> <li>・最大取水量 1.565 m<sup>3</sup>/s、流域面積 15.57km<sup>2</sup>、設計洪水量 740.0m<sup>3</sup>/s</li> <li>・堤高 58.7m、堤長 296.2m、堤体積 1,207,000m<sup>3</sup></li> <li>・洪水吐形式：横越流式</li> <li>・取水設備：多孔式斜樋、放流設備：ジェットフローゲート</li> <li>・管理棟（建築構造物）：鉄筋コンクリート 2階建 1棟</li> <li>・操作管理設備 1式</li> </ul>	
<p>大野川上流 大蘇ダム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・型式：中心遮水ゾーン型ロックフィルダム</li> <li>・総貯水量 4,300 千 m<sup>3</sup>、有効貯水量 3,890 千 m<sup>3</sup></li> <li>・最大取水量 1.963 m<sup>3</sup>/s、流域面積 26km<sup>2</sup>、設計洪水量 660m<sup>3</sup>/s</li> <li>・堤高 69.9m、堤長 262.08m、堤体積 1,397,000m<sup>3</sup></li> <li>・洪水吐形式：自由越流式側水路型</li> <li>・取水設備：多孔式斜樋、放流設備：ジェットフローゲート</li> <li>・管理棟（建築構造物）：鉄筋コンクリート 2階建 1棟</li> <li>・操作管理設備 1式</li> </ul>	

【別紙2】耐震性能照査選定対象施設一覧表

地区名/ダム名 付帯設備名	耳納山麓/ 合所ダム	嘉瀬川/ 北山ダム	多良岳/ 花取ため池	多良岳/ 笹原ため池	多良岳/ 七曲ため池
取水設備及び洪水吐以外の放 流設備	○	○	○	○	○
洪水吐水路	○	—	○	○	○
洪水吐ゲート	○	○	—	—	—
洪水吐天端橋梁	○	○	○	○	○
管理棟・操作室（建築構造物）	○	○	○	○	○
操作管理設備（電気設備、通信 設備、警報設備）	○	○	○	○	○
地区名/ダム名 付帯設備名	多良岳/ 万才ため池	上場/ 赤坂ダム	上場/ 上倉ダム	上場/ 藤ノ平ダム	大野川上流/ 大蘇ダム
取水設備及び洪水吐以外の放 流設備	○	○	○	○	○
洪水吐水路	○	○	○	○	○
洪水吐ゲート	—	—	—	—	—
洪水吐天端橋梁	○	○	○	○	○
管理棟・操作室（建築構造物）	○	—	—	○	○
操作管理設備（電気設備、通信 設備、警報設備）	○	○	○	○	○

凡例：○は業務対象施設、—は業務対象外

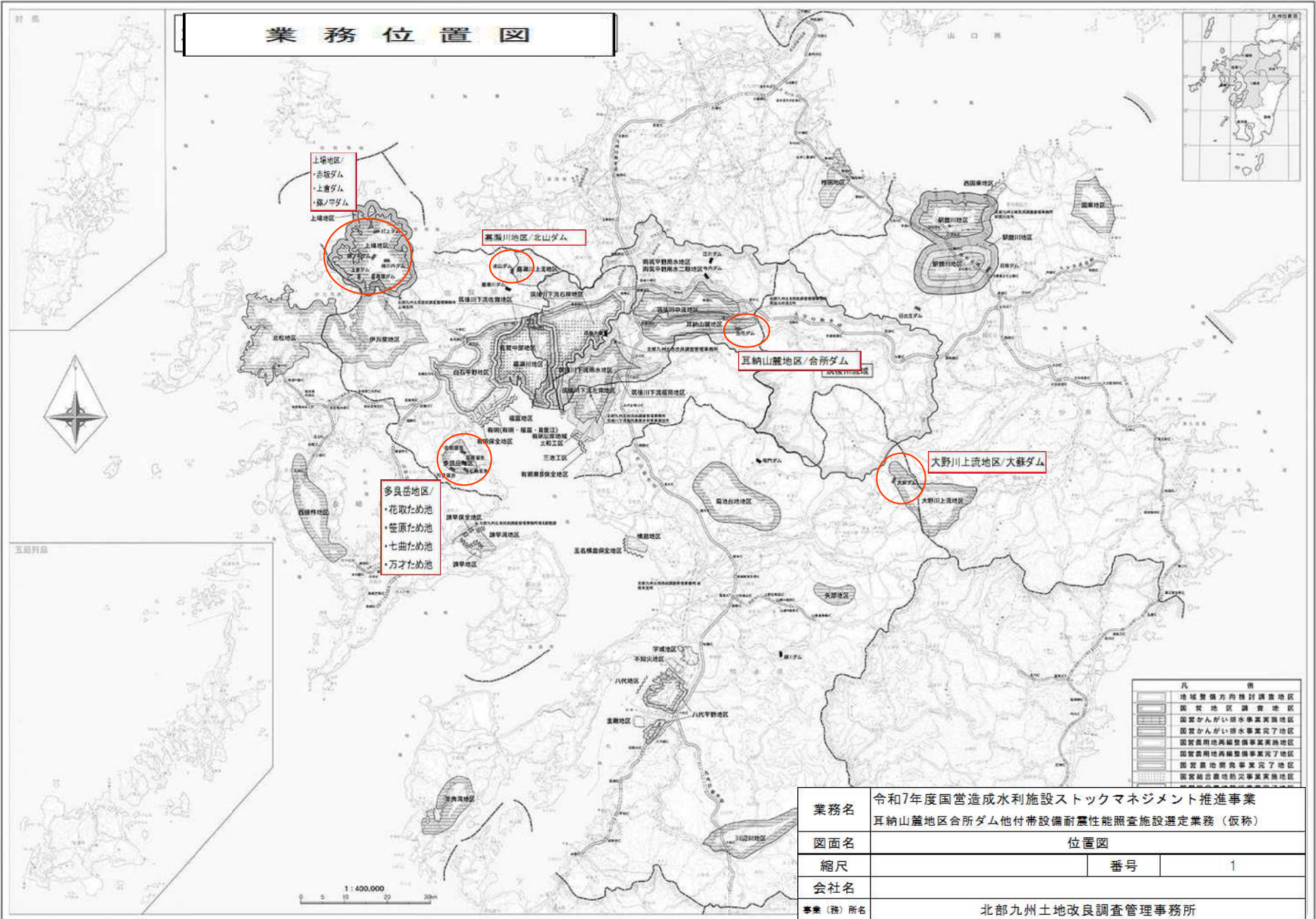
【別紙3】作業項目内訳表

作業項目	作業内容	数量	備考
1. 資料の検討	貸与資料を整理把握し、作業計画を立案する。	1式	
2. 現地調査	ダム付帯設備耐震性能照査対象設備のスクリーニングに必要な現地調査及び資料収集を行う。	1式	
3. 対象施設の選定 (スクリーニング)	農業用ダム付帯設備耐震性能照査マニュアル、参考資料及び現地調査結果を踏まえ、耐震性能照査対象設備のスクリーニングを行い、耐震性能照査対象設備の選定及び照査実施スケジュールを作成する。 なお、耐震性能照査対象設備については、【別紙2】耐震性能照査選定対象施設一覧表のとおり想定している。	1式	
4. ダム安全性評価委員会 幹事会資料の作成	耐震性能照査対象設備の選定・非選定を行った施設について、ダム安全性評価委員会幹事会に必要な資料を作成する。なお、資料は1ダム当たり50枚程度（A3判）を想定している。	1式	
5. 点検とりまとめ	成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	1式	

令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務

図面目録

図面番号	図面名称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	耳納山麓地区/合所ダム平面図	1	
3	耳納山麓地区/合所ダム標準断面図	1	
4	嘉瀬川地区/北山ダム平面図	1	
5	嘉瀬川地区/北山ダム標準断面図	1	
6	多良岳地区/花取ため池平面図	1	
7	多良岳地区/花取ため池標準断面図	1	
8	多良岳地区/笹原ため池平面図	1	
9	多良岳地区/笹原ため池標準断面図	1	
10	多良岳地区/七曲ため池平面図	1	
11	多良岳地区/七曲ため池標準断面図	1	
12	多良岳地区/万才ため池平面図	1	
13	多良岳地区/万才ため池標準断面図	1	
14	上場地区/赤坂ダム平面図	1	
15	上場地区/赤坂ダム標準断面図	1	
16	上場地区/上倉ダム平面図	1	
17	上場地区/上倉ダム標準断面図	1	
18	上場地区/藤ノ平ダム平面図	1	
19	上場地区/藤ノ平ダム標準断面図	1	
20	大野川上流地区/大蘇ダム平面図	1	
21	大野川上流地区/大蘇ダム標準断面図	1	
計		21	



# 業務位置図

上埴地区/  
赤坂ダム  
上倉ダム  
森ノ平ダム

新瀬川地区/北山ダム

耳納山麓地区/合所ダム

大野川上流地区/大森ダム

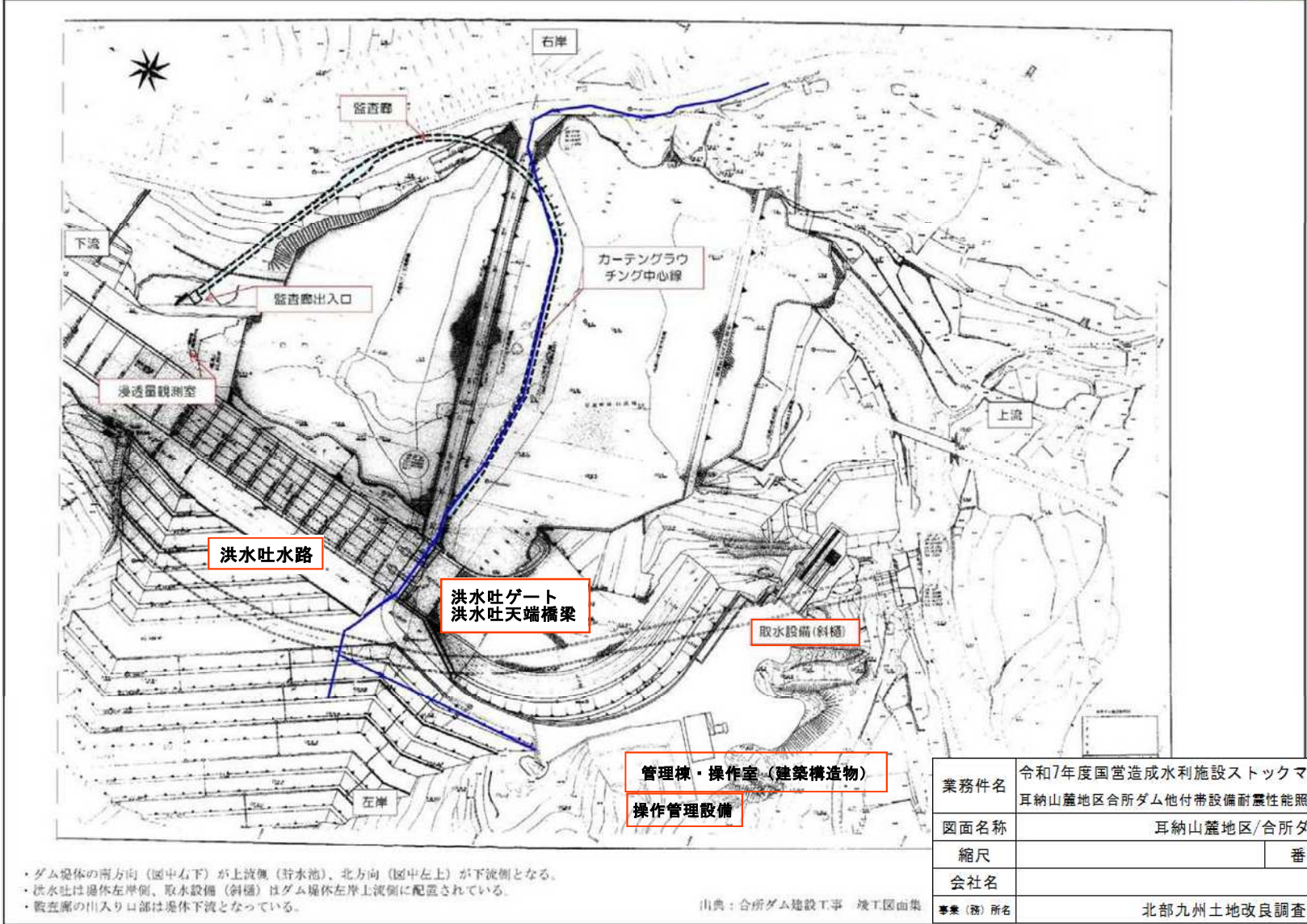
多良岳地区/  
花取ため池  
笹原ため池  
七曲ため池  
万才ため池

- 凡 例
- 流域整備方針検討調査地区
  - ▨ 調査地区調査地区
  - ▩ 調査かんがい排水事業実施地区
  - ▧ 調査かんがい排水事業完了地区
  - ▦ 調査農用地再編整備事業実施地区
  - ▥ 調査農用地再編整備事業完了地区
  - ▤ 調査農地開発事業完了地区
  - ▣ 調査総合農地開発事業実施地区

業務名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務（仮称）		
図面名	位置図		
縮尺	番号	1	
会社名			
事業（務）所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

© 2024 国土交通省 国土院 国土利用部 国土利用課 国土利用計画課 国土利用計画課 国土利用計画課

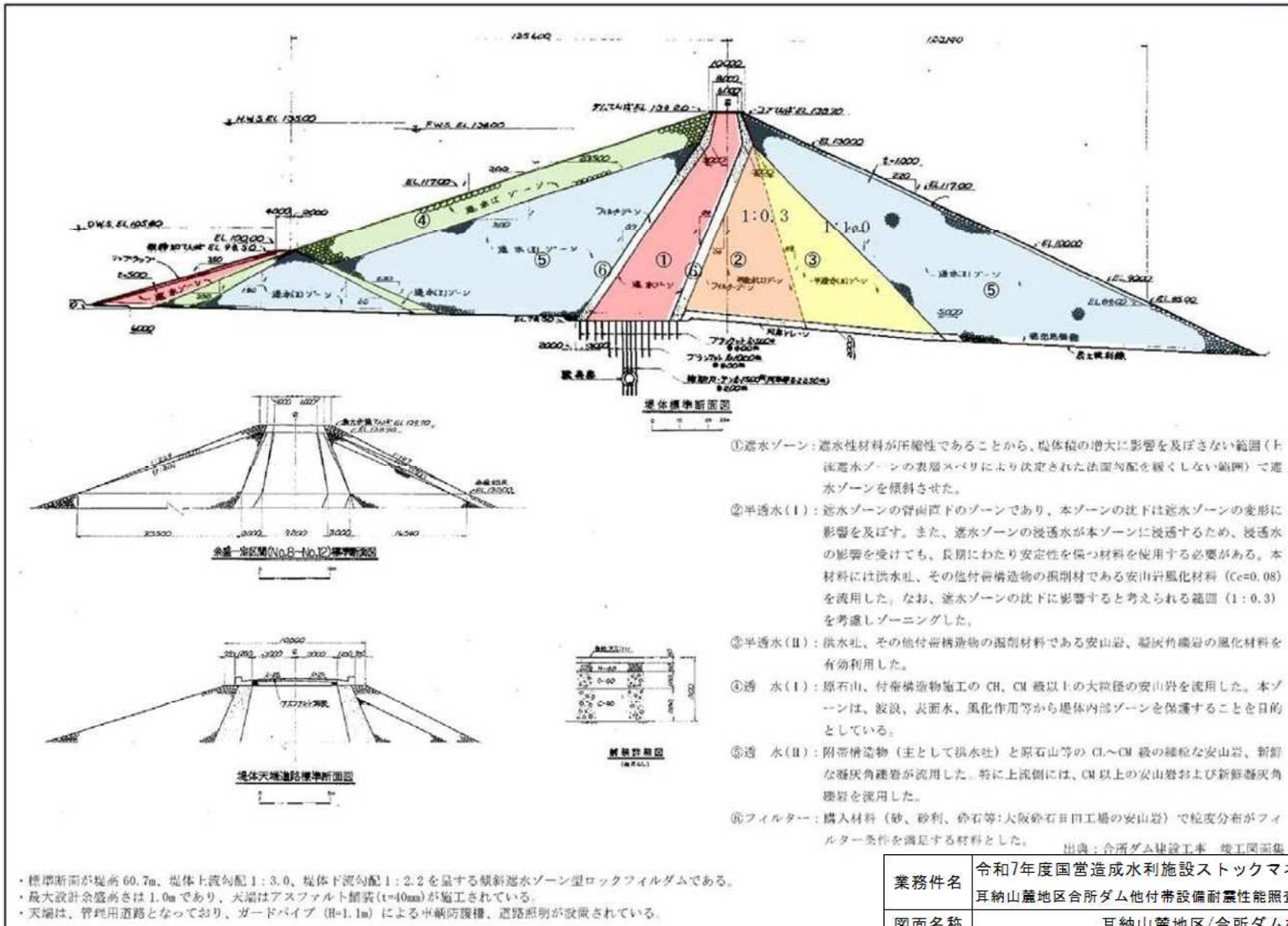
製図者：国土院 国土利用部 国土利用課 国土利用計画課



- ・ダム堤体の南方向(図中右下)が上流側(貯水池)、北方向(図中左上)が下流側となる。
- ・洪水吐は堤体左岸側、取水設備(斜樋)はダム堤体左岸上流側に配置されている。
- ・監視廊の出入り口部は堤体下流となっている。

出典：合所ダム建設工事 竣工図面集

業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	耳納山麓地区/合所ダム平面図		
縮尺		番号	2
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		



- ①透水ゾーン: 透水性材料が圧縮性であることから、堤体積の増大に影響を及ぼさない範囲(下流透水ゾーンの表層スベリにより決定された法面勾配を緩くしない範囲)で透水ゾーンを傾斜させた。
- ②半透水(Ⅰ): 透水ゾーンの背面直下のゾーンであり、本ゾーンの沈下は透水ゾーンの変形に影響を及ぼす。また、透水ゾーンの浸透水が本ゾーンに浸透するため、浸透水の影響を受けても、長期にわたり安定性を保つ材料を使用する必要がある。本材料には洪水吐、その他付帯構造物の掘削材である安山岩風化材料(Ce=0.08)を流用した。なお、透水ゾーンの沈下に影響すると考えられる範囲(1:0.3)を考慮しゾーニングした。
- ③半透水(Ⅱ): 洪水吐、その他付帯構造物の掘削材である安山岩、凝灰角礫岩の風化材料を有効利用した。
- ④透 水(Ⅰ): 原石山、付帯構造物施工のCH、CM級以上の大粒径の安山岩を流用した。本ゾーンは、波浪、表面水、風化作用等から堤体内部ゾーンを保護することを目的としている。
- ⑤透 水(Ⅱ): 付帯構造物(主として洪水吐)と原石山等のCl~CII級の細粒な安山岩、新鮮な凝灰角礫岩が流用した。特に上流側には、CM以上の安山岩および新鮮凝灰角礫岩を流用した。
- ⑥フィルター: 購入材料(砂、砂利、砕石等:大飯砕石目田工場の安山岩)で粒度分布がフィルター条件を満たす材料とした。

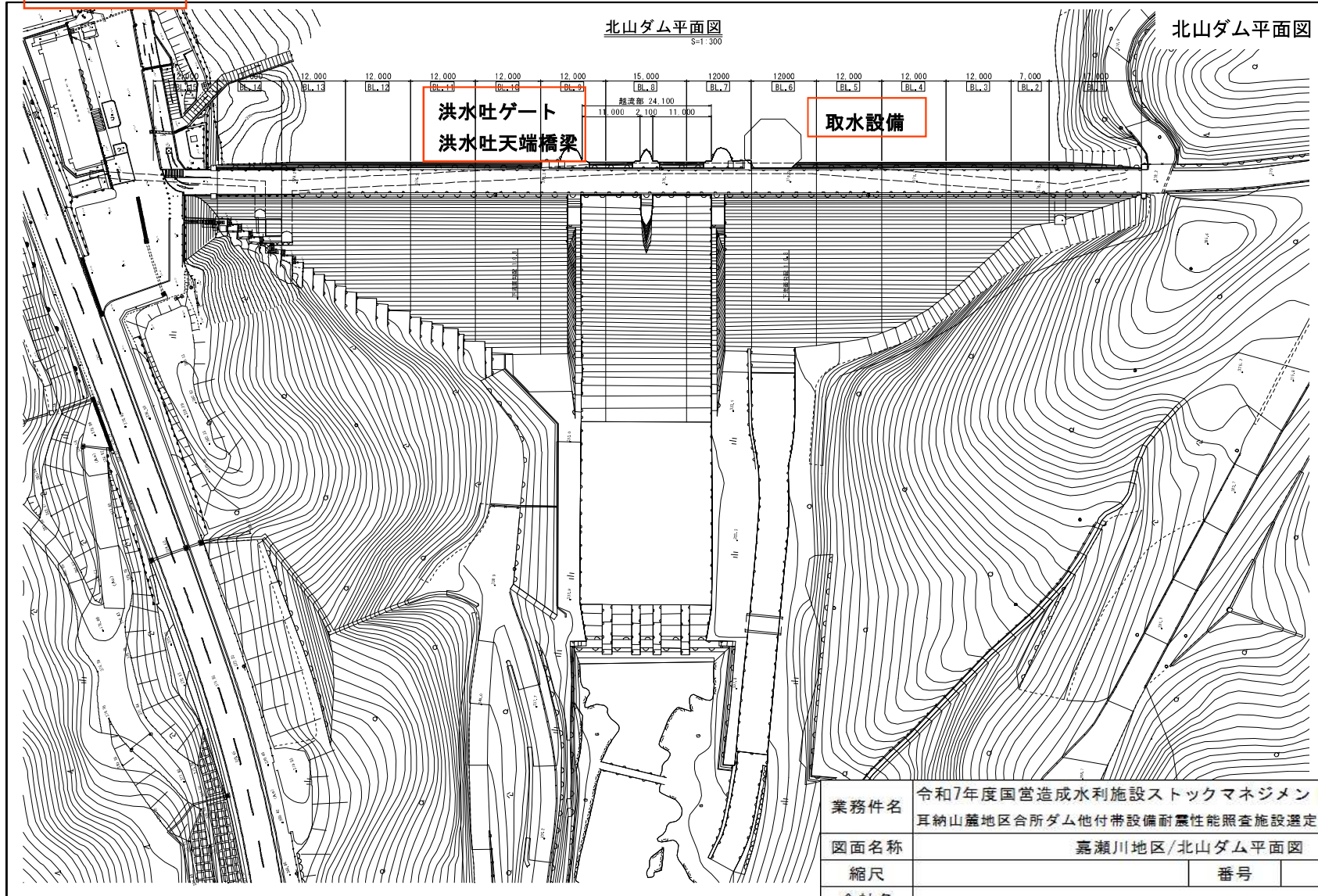
・標準断面が堤高60.7m、堤体上流勾配1:3.0、堤体下流勾配1:2.2を量する傾斜透水ゾーン型ロックフィルダムである。  
 ・最大設計余盛高さは1.0mであり、天端はアスファルト舗装(t=40mm)が施工されている。  
 ・天端は、管理用道路となっており、ガードパイプ(H=1.1m)による中納防護柵、道路照明が設置されている。

業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	耳納山麓地区/合所ダム標準断面図		
縮尺		番号	3
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

出典: 合所ダム建設工事 地工図面集

管理棟・操作室（建築構造物）

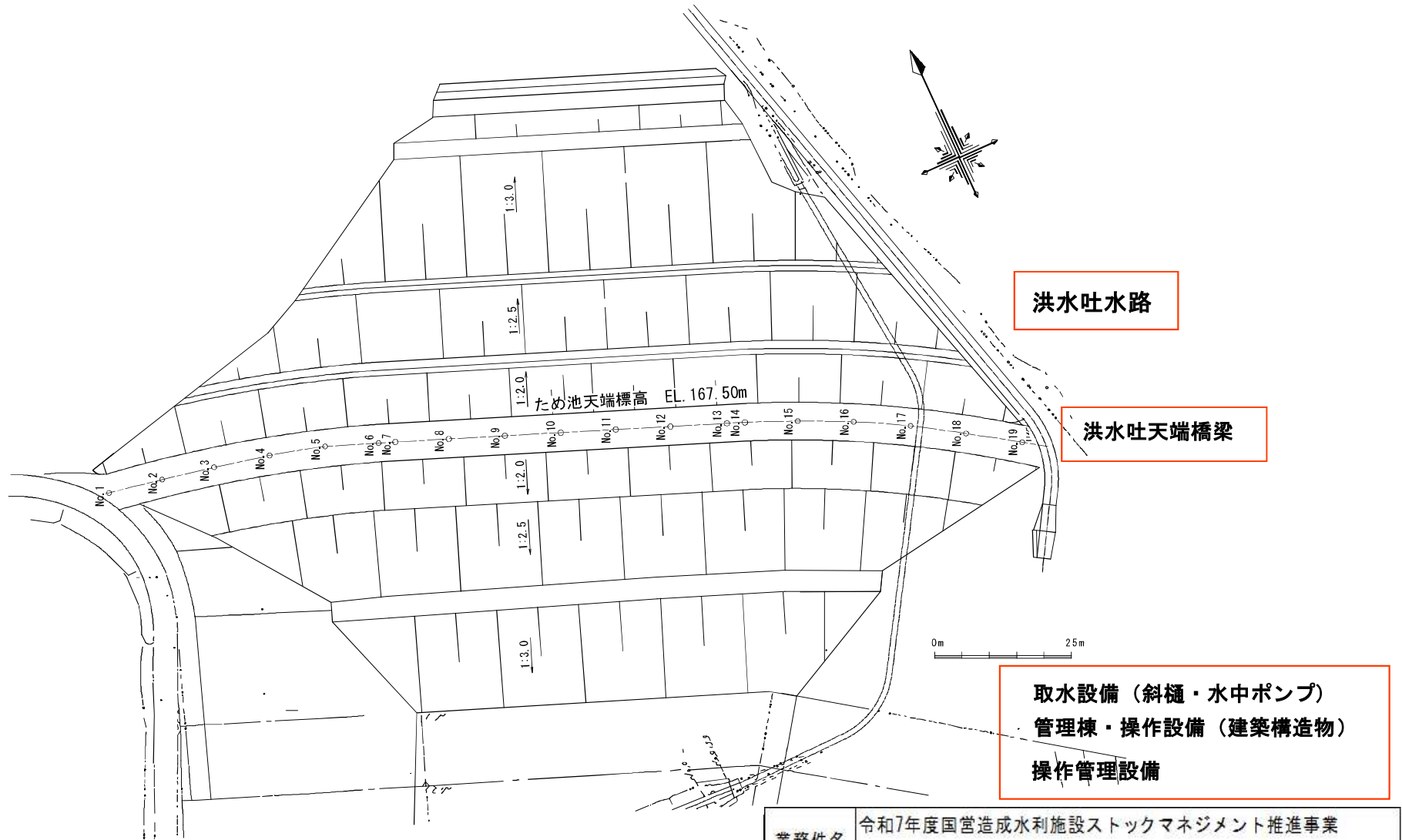
操作管理設備



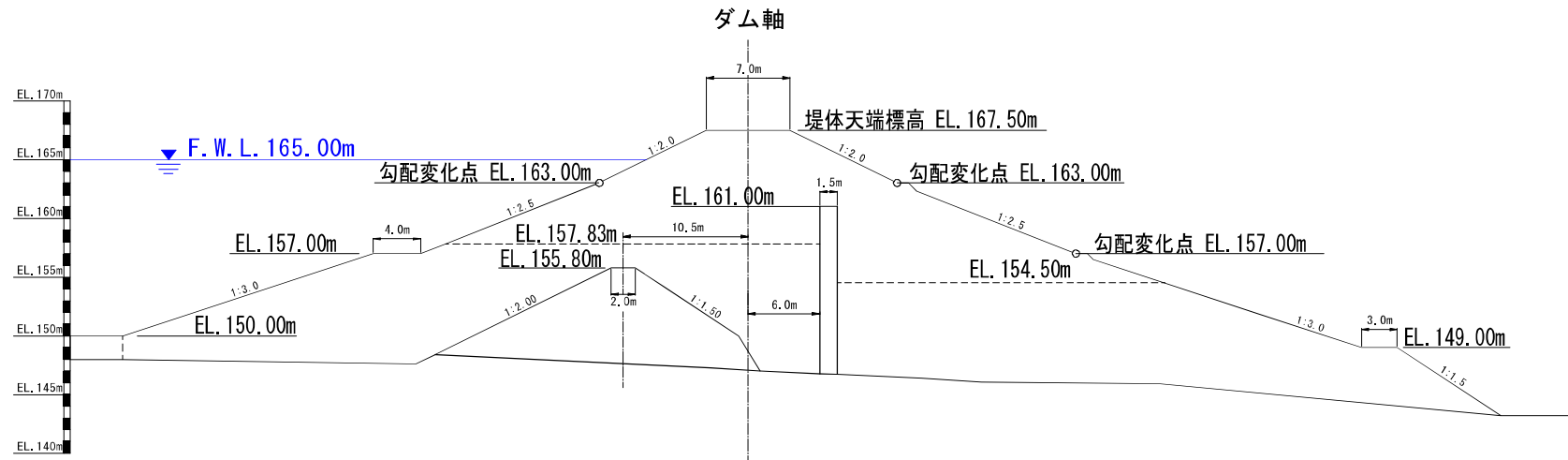
業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務（仮称）		
図面名称	嘉瀬川地区/北山ダム平面図		
縮尺		番号	4
会社名			
事業（務）所名	北部九州土地改良調査管理事務所		



平面図・断面図(花取ため池)

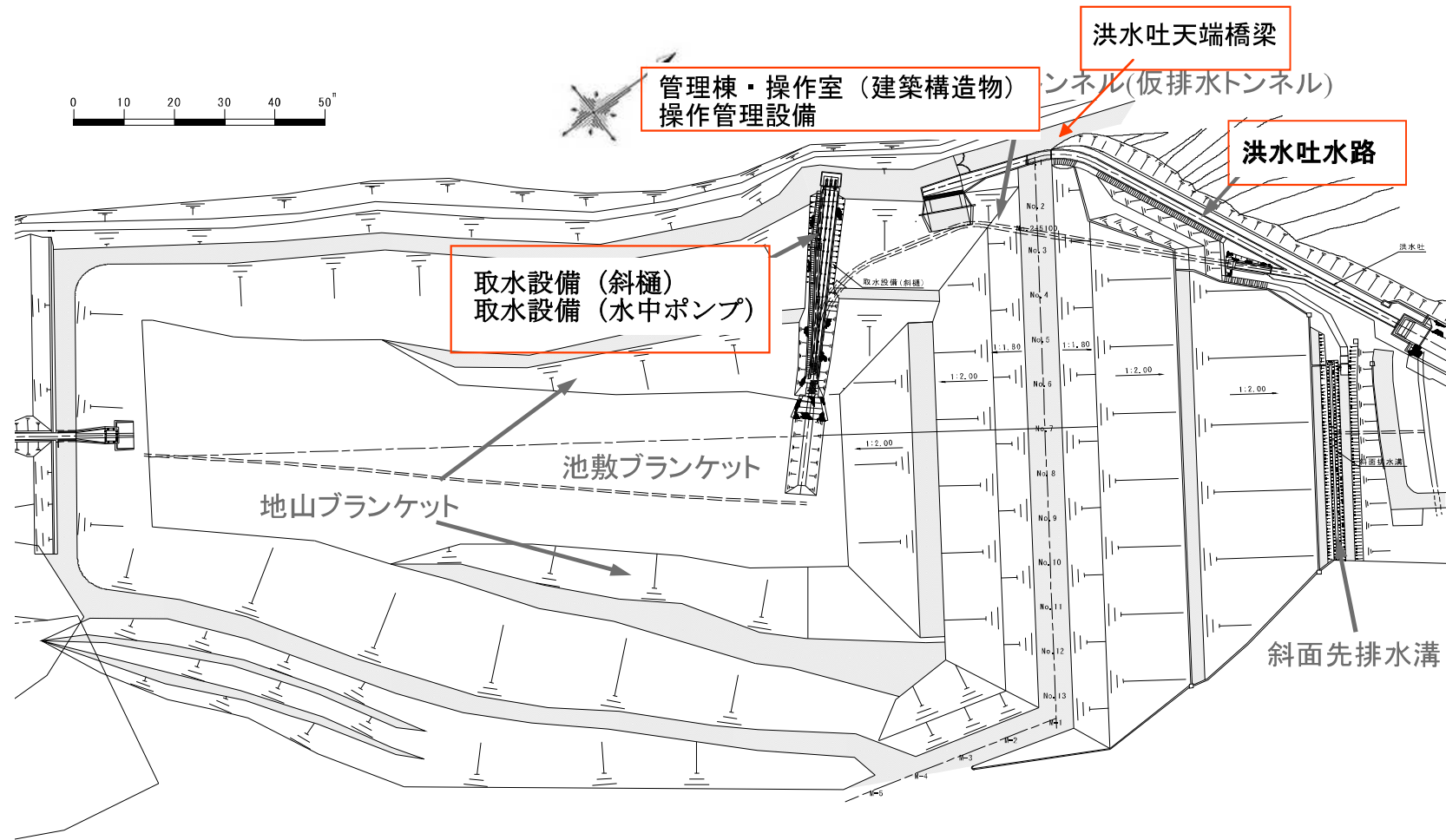


業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務 (仮称)		
図面名称	多良岳地区/花取ため池平面図		
縮尺		番号	6
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		



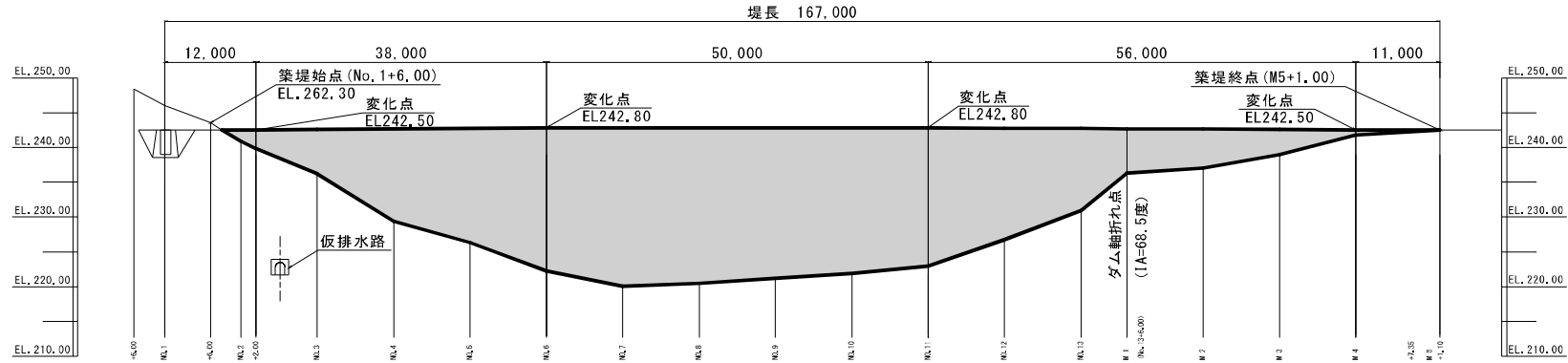
花取ため池堤体標準断面図

業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	多良岳地区/花取ため池標準断面図		
縮尺		番号	7
会社名			
専業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

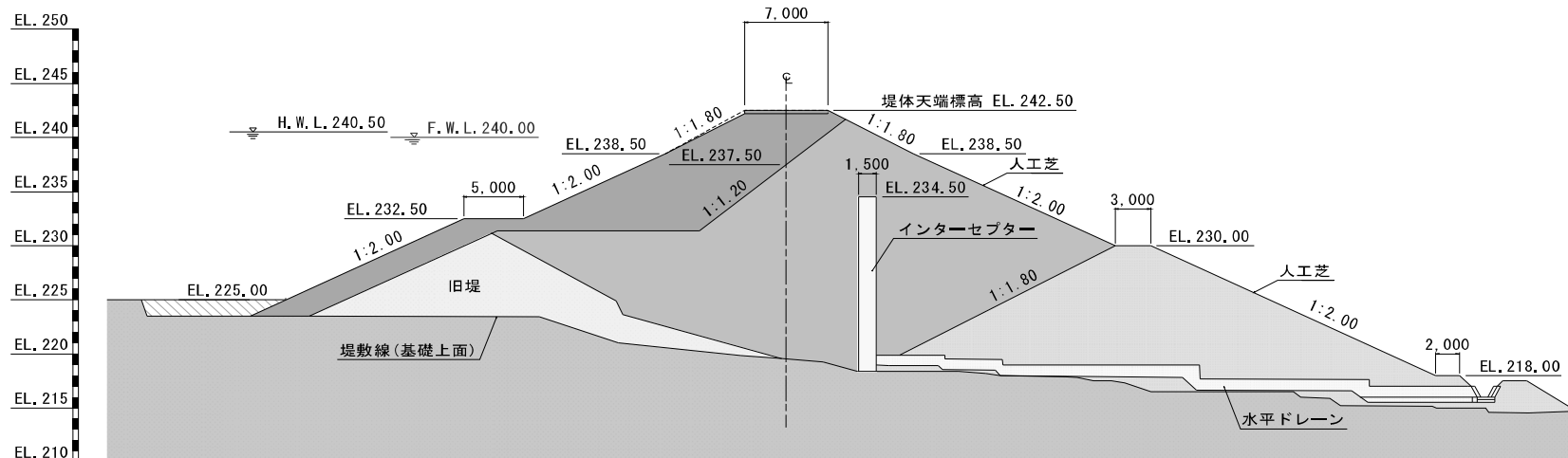


笹原ため池 平面図

業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	多良岳地区/笹原ため池平面図		
縮尺		番号	8
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		



笹原ため池 堤体縦断面図

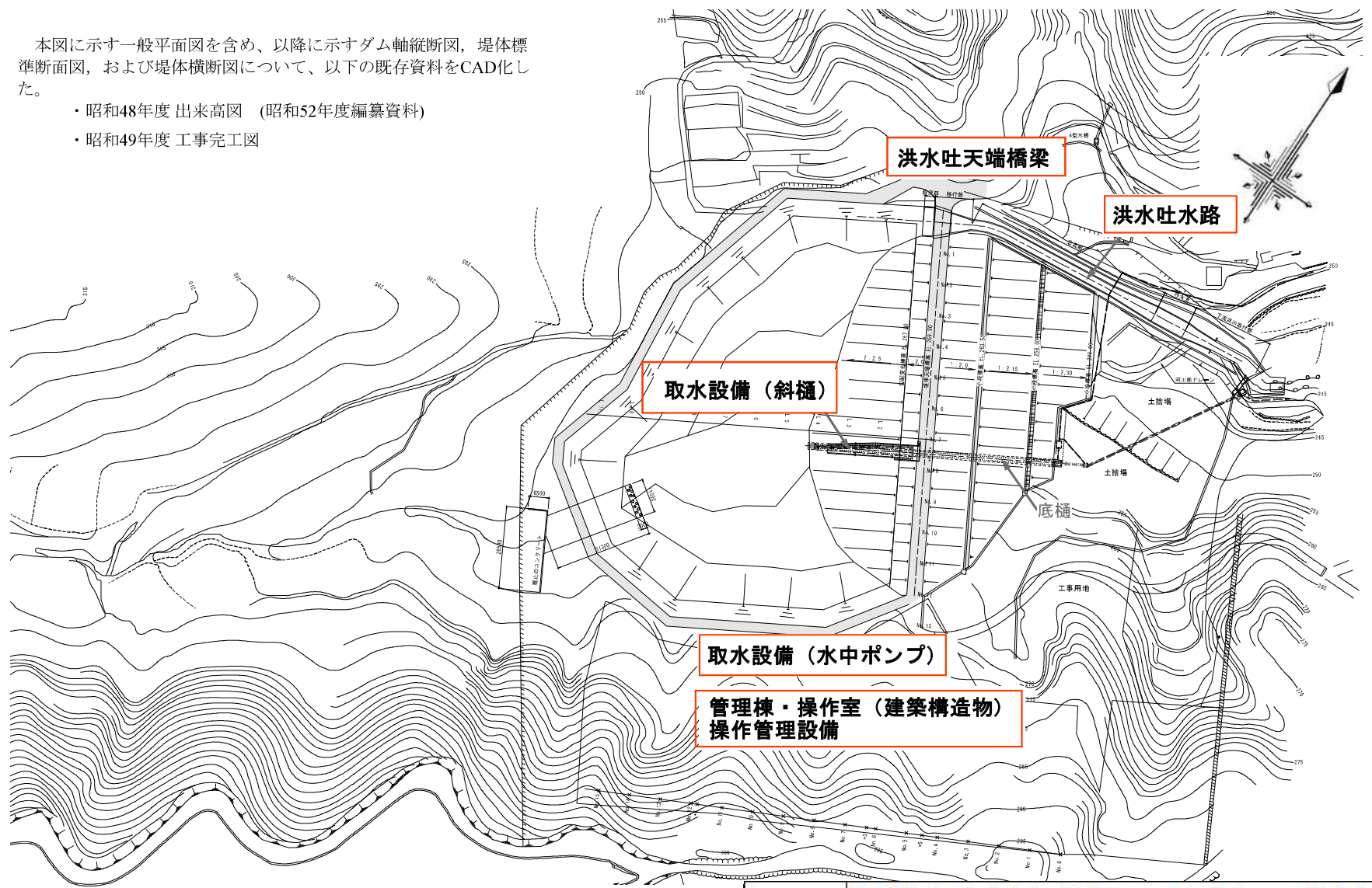


笹原ため池 堤体標準断面図

業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	多良岳地区/笹原ため池標準断面図		
縮尺		番号	9
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

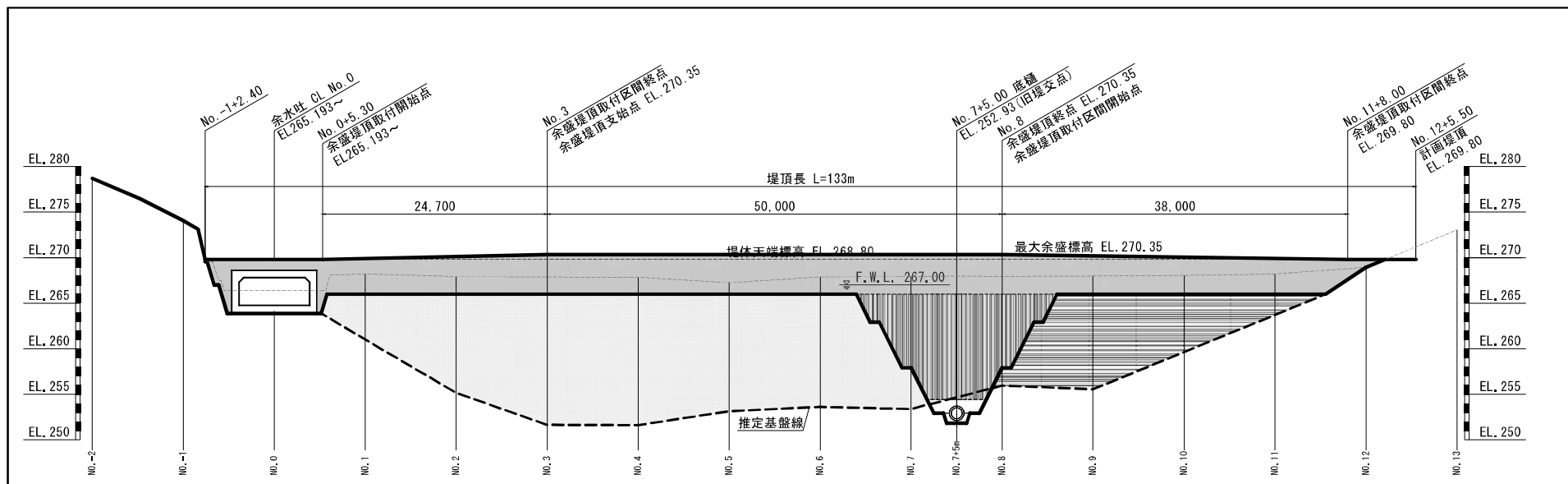
本図に示す一般平面図を含め、以降に示すダム軸縦断面図、堤体標準断面図、および堤体横断面図について、以下の既存資料をCAD化した。

- ・昭和48年度 出来高図（昭和52年度編纂資料）
- ・昭和49年度 工事完工図



ため池 一般平面図  
(出典：S49年度)

業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務（仮称）		
図面名称	多良岳地区/七曲ため池平面図		
縮尺		番号	10
会社名			
事業（務）所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

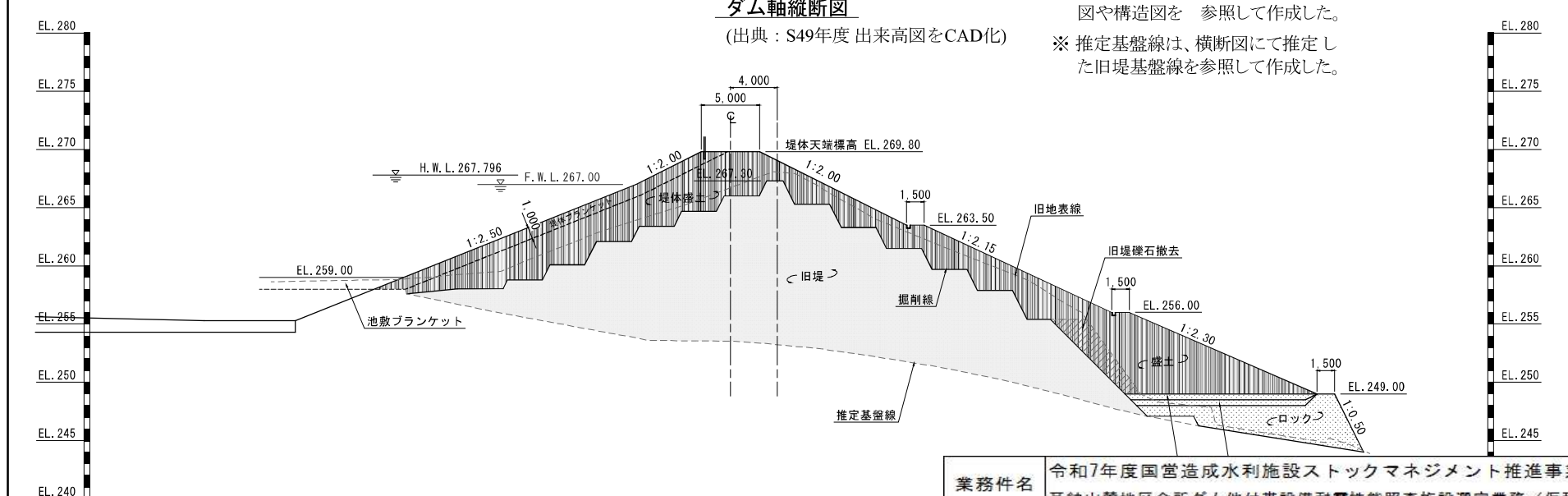


**ダム軸縦断面図**

(出典：S49年度 出来高図をCAD化)

※ 洪水吐、および底樋は、一般平面図や構造図を参照して作成した。

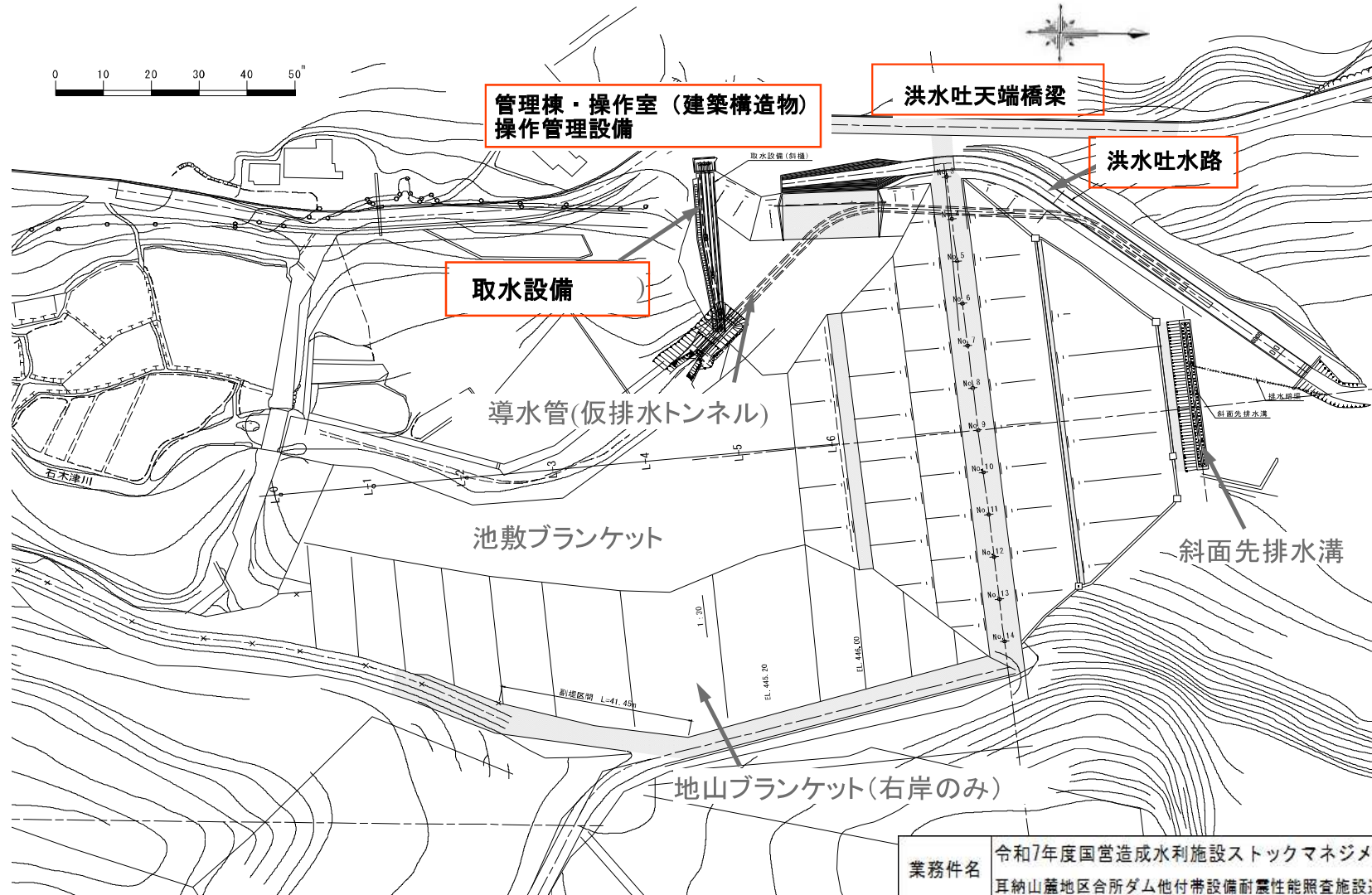
※ 推定基盤線は、横断面にて推定した旧堤基盤線を参照して作成した。



**堤体標準断面図**

(出典：S49年度 出来高図をCAD化)

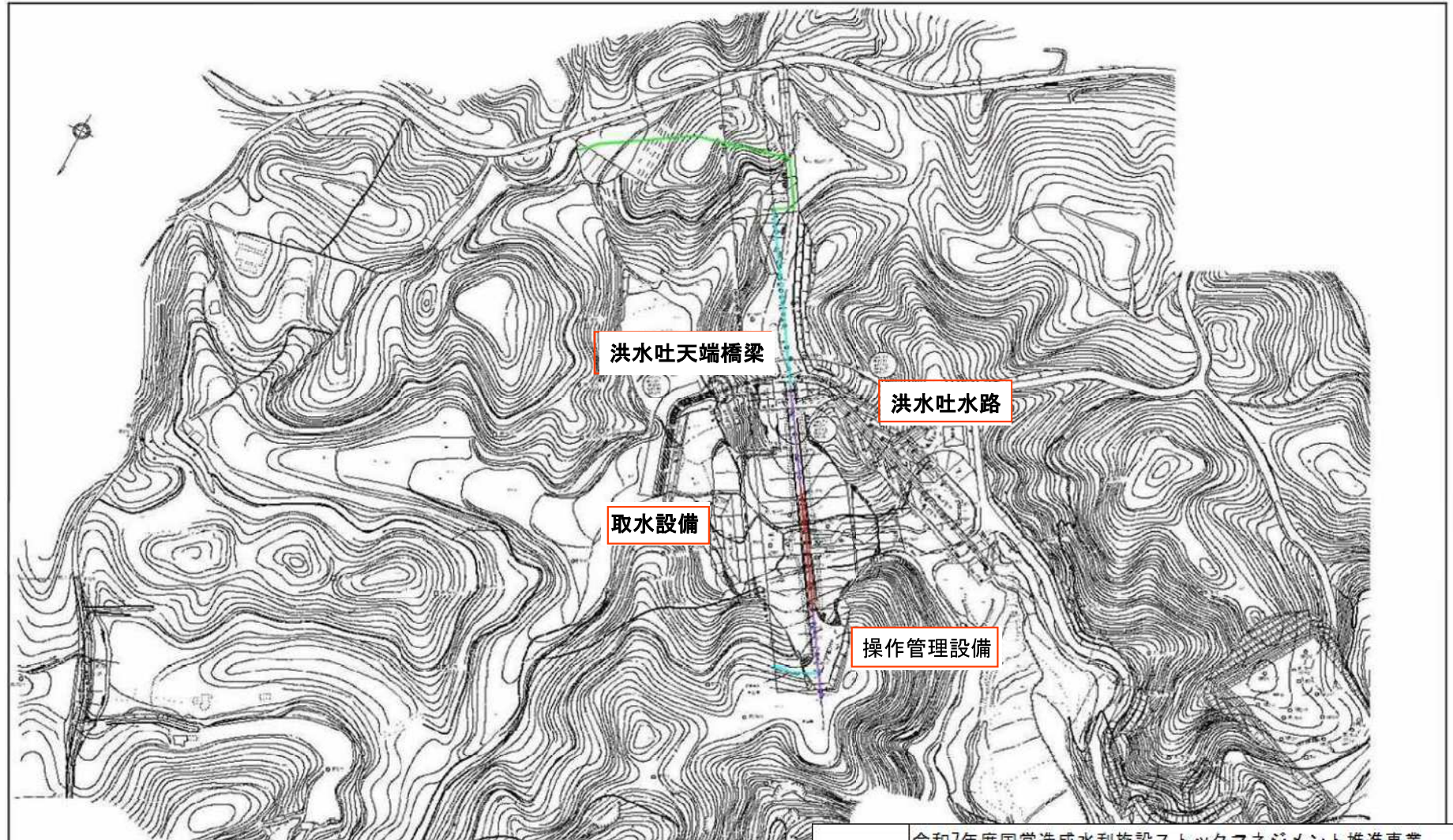
業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	多良岳地区/七曲ため池標準断面図		
縮尺		番号	11
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		



万才ため池 平面図

業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 巨納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	多良岳地区/万才ため池平面図		
縮尺		番号	12
会社名			
専業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		





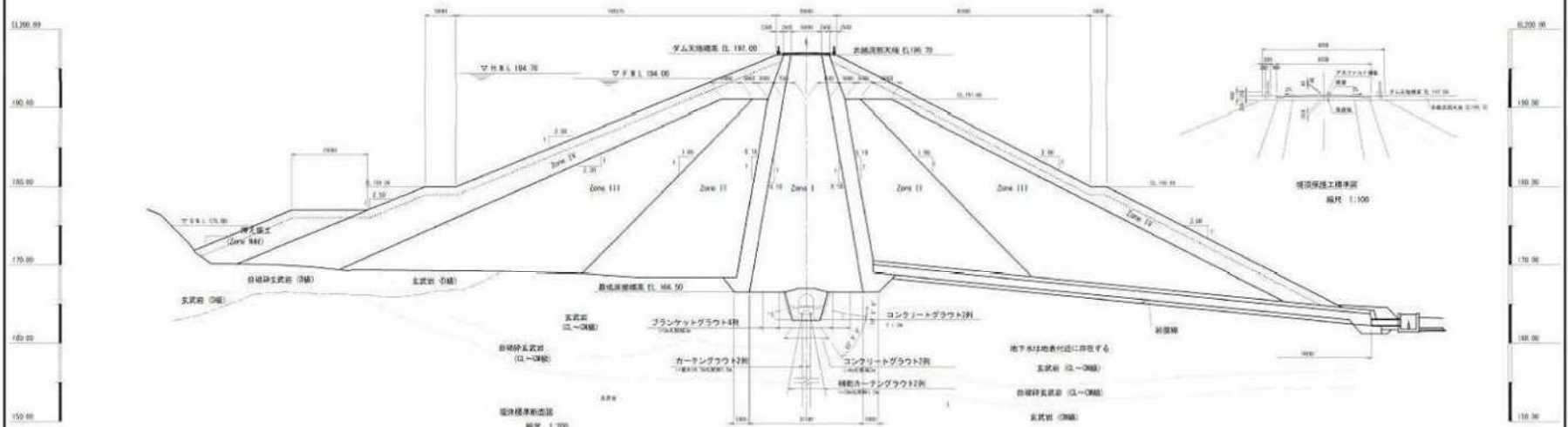
業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務（仮称）		
図面名称	上場地区/赤坂ダム平面図		
縮尺		番号	14
会社名			
事業（務）所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

躯体材料とゾーニング

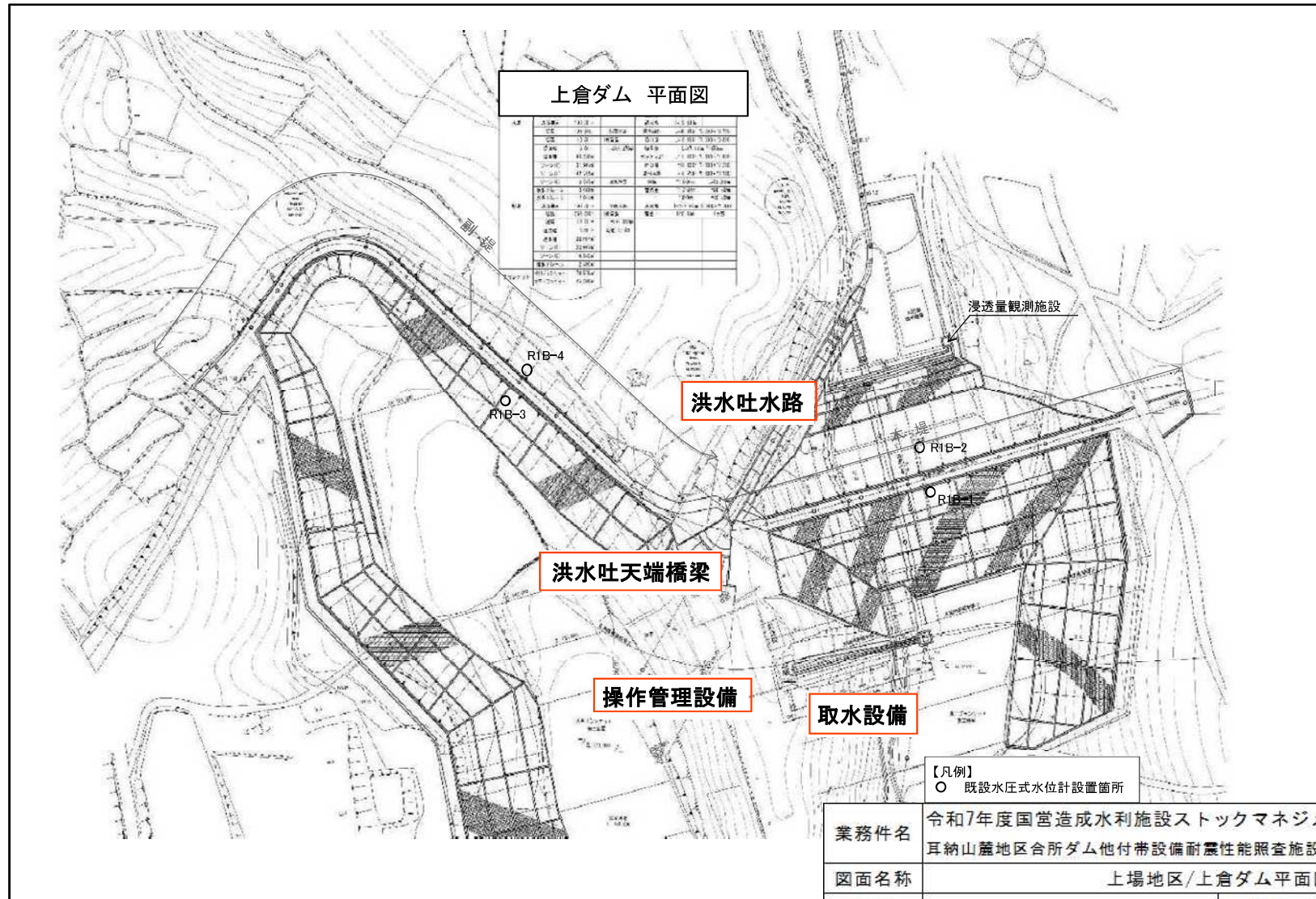
ゾーン	区分	躯体材料
Zone I	不透水性ゾーン	砂岩風化土とオンジャク土1:1(乾土比)で混合
Zone II	半透水性ゾーン	風化玄武岩
Zone III	半透水性ゾーン	玄武岩 (CL~CII級)
Zone III'	不透水性ゾーン	玄武岩 (CL~CII級 (多孔質部を含む))
Zone IV	透水性ゾーン	玄武岩 (CL~CII級(新鮮岩))
フィルター		購入砕石

躯体材料設計数値一覧表

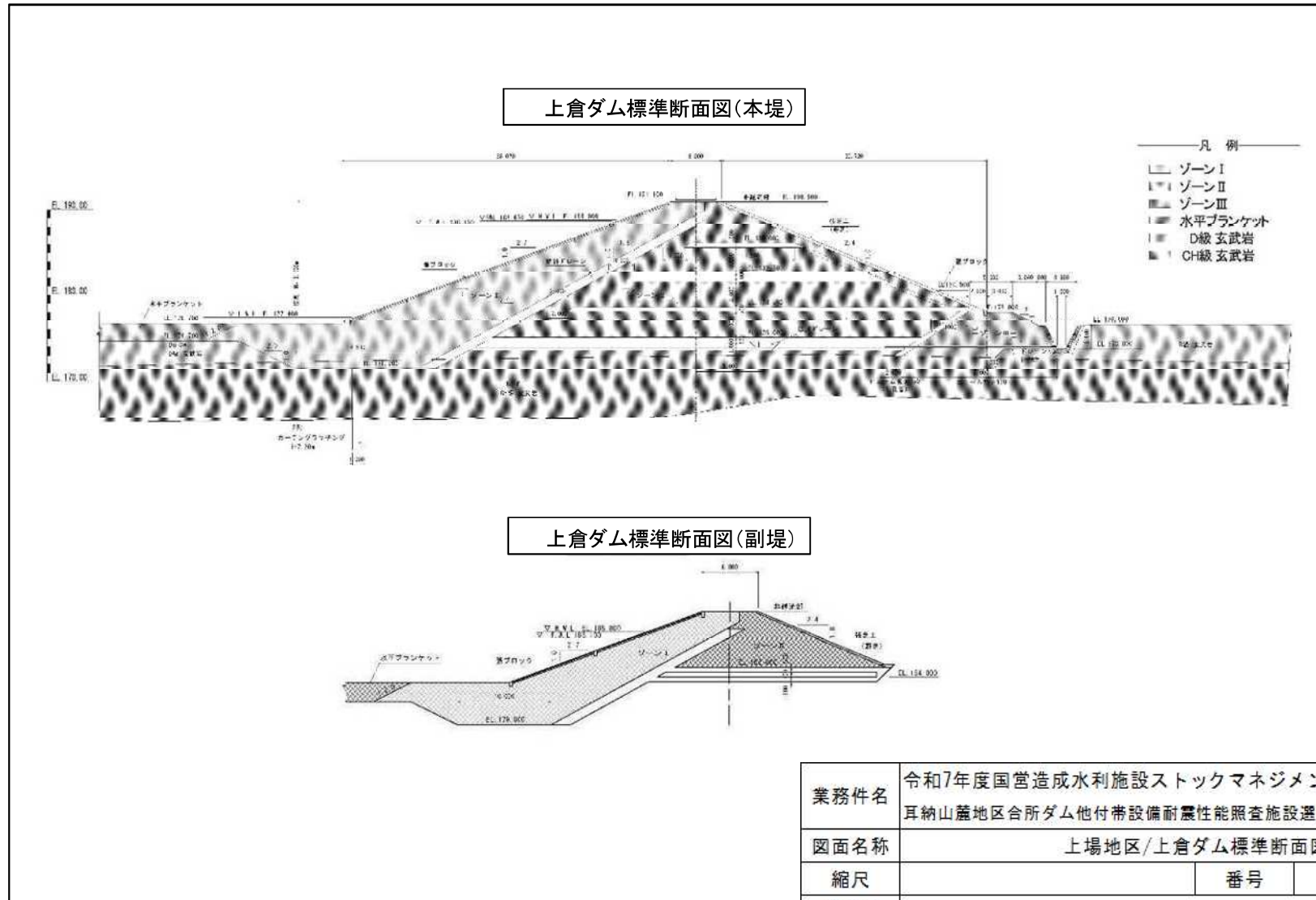
ゾーン	躯体材料	質量								せん断強度				透水性係数 K (cm/s)	備考
		比重	乾燥密度 $\gamma_d$ (t/m <sup>3</sup> )	含水比 w (%)	湿潤密度 $\gamma_t$ (t/m <sup>3</sup> )	孔隙比 e	飽和重量 $\gamma_{sat}$ (t/m <sup>3</sup> )	水中重量 $\gamma_{sub}$ (t/m <sup>3</sup> )	せん断力強度	有効力強度	せん断力強度	内部摩擦角 $\phi$ (°)			
Zone I	砂岩風化土とオンジャク土1:1(乾土比)で混合して用いる	2.82	1.31	35.2	1.81	1.15	1.85	0.85	3.0	11° 00'	3.0	25° 00'	K $\leq$ 1 $\times$ 10 <sup>-7</sup>	昭和59年度混合材, 昭和61年度混合材1~6の試験値をもとに密度はD値95の平均値, せん断強度に最良値を採用した。	
Zone II	風化玄武岩	2.83	1.45	32.6	1.82	1.82	1.96	1.96	2.9	15° 00'	2.0	30° 00'	—	昭和61年度, 昭和62年度の材料の試験値をもとに密度はD値95の平均値, せん断強度は最良値を採用した。	
Zone III	玄武岩 (CL~CII級)	2.55	1.90	8.9	2.14	0.30	2.18	1.19	0	35° 00'	0	35° 00'	K $\geq$ 5 $\times$ 10 <sup>-7</sup>	E <sub>c</sub> =215 $\times$ 150%程度で得られる密度, せん断強度を採用した。	
Zone III'	玄武岩 (CL~CII級 (多孔質部を含む))	2.55	1.90	8.2	2.15	0.28	2.25	1.21	0	38° 00'	0	38° 00'	k $\geq$ 1 $\times$ 10 <sup>-7</sup>		
Zone IV	玄武岩 (CL~CII級(新鮮岩))	2.84	2.00	5.5	2.14	0.30	2.26	1.26	0	42° 00'	0	42° 00'	k $\geq$ 1 $\times$ 10 <sup>-7</sup>		
フィルター	購入砕石	—	—	—	2.70	—	2.30	1.20	0	35° 00'	0	35° 00'	1 $\times$ 10 <sup>-7</sup> K/1 $\times$ 10 <sup>-7</sup>		



業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務 (仮称)		
図面名称	上場地区/赤坂ダム標準断面図		
縮尺		番号	15
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		



業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	上場地区/上倉ダム平面図		
縮尺		番号	16
会社名			
専業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

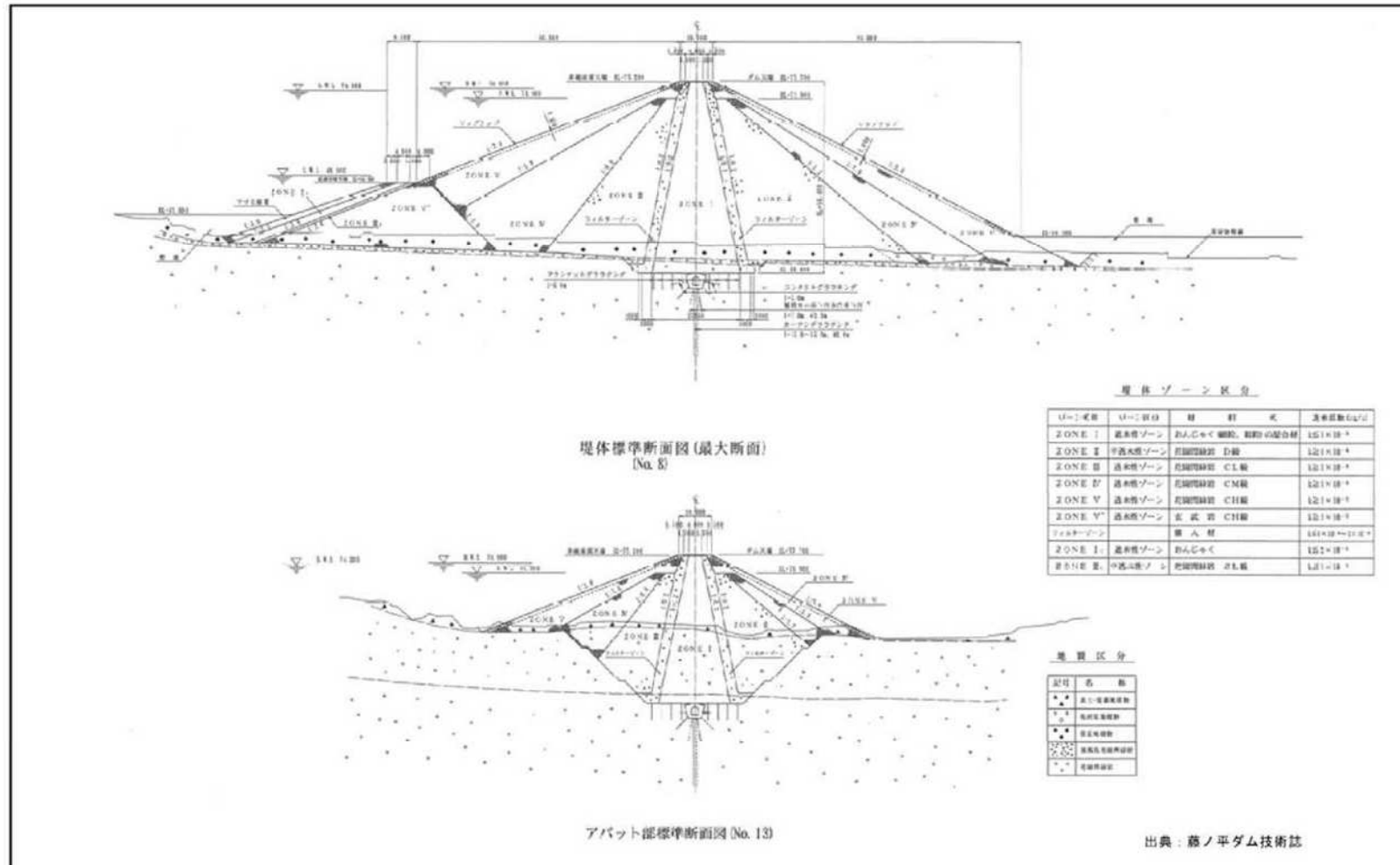


業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	上場地区/上倉ダム標準断面図		
縮尺		番号	17
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

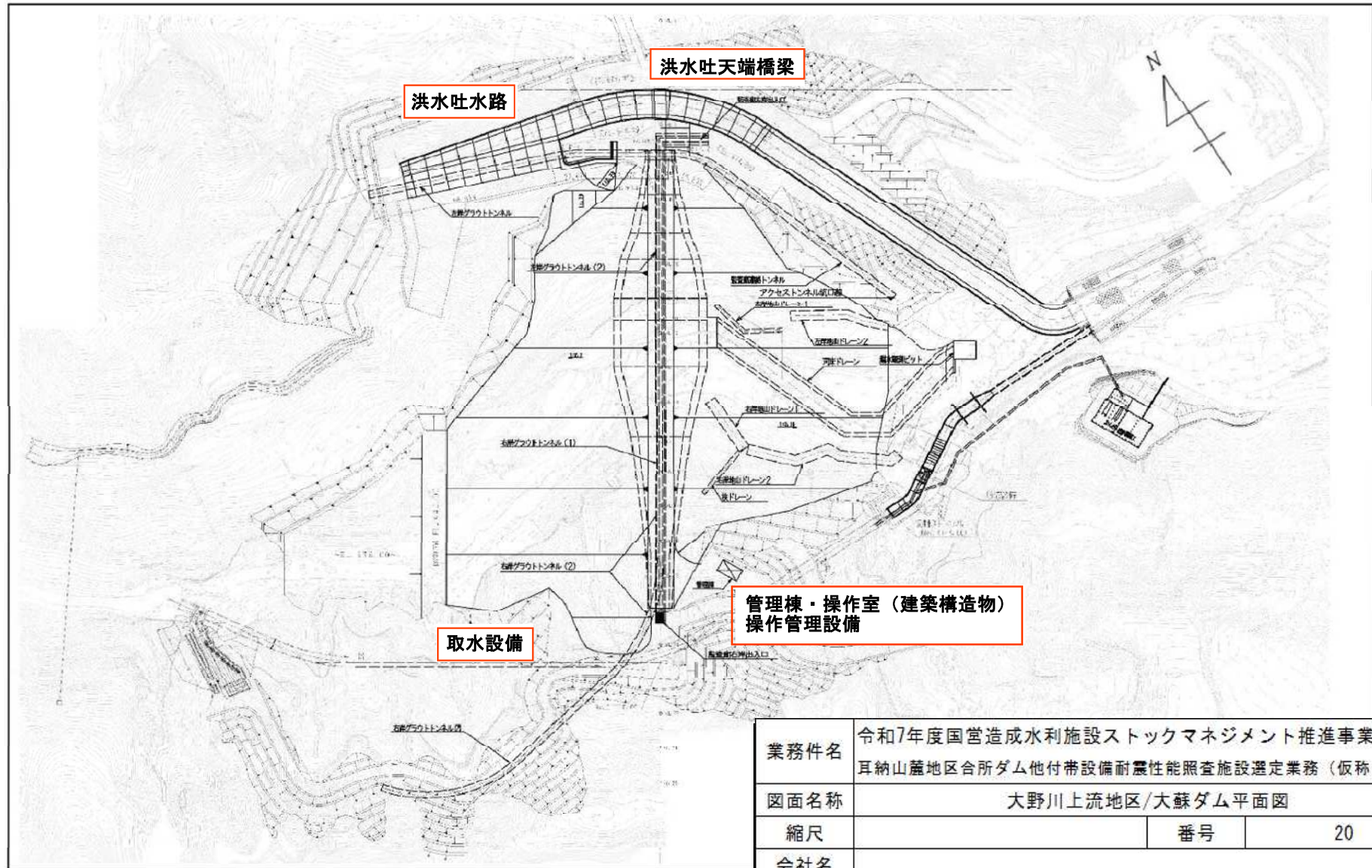


・ダム堤体の東北方向(図中右上)が上流側(貯水池)である。左岸側に洪水吐及び取水設備(斜樋)が配置されている。

業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	上場地区/藤ノ平ダム平面図		
縮尺		番号	18
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

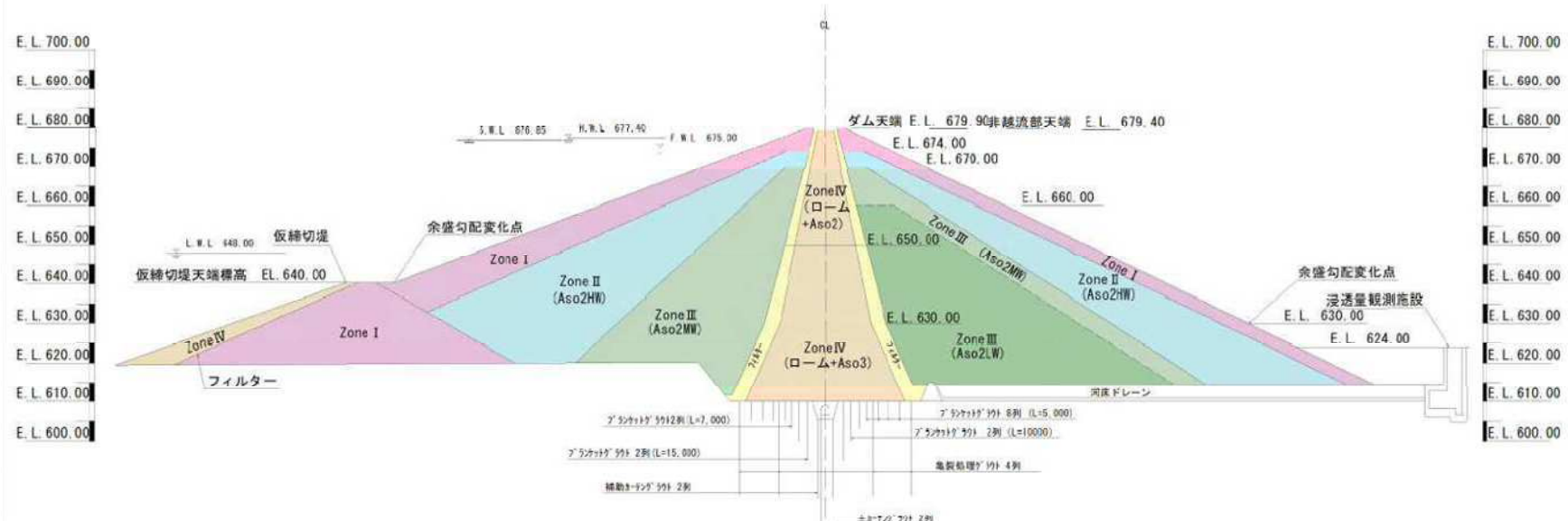


業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務（仮称）		
図面名称	上場地区/藤ノ平ダム標準断面図		
縮尺		番号	19
会社名			
事業（務）所名	北部九州土地改良調査管理事務所		



業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	大野川上流地区/大蘇ダム平面図		
縮尺		番号	20
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

Zone区分		摘要
Zone I (透水性ゾーン)		購入材(大野産ホルンフェルス)
Zone II (透水性ゾーン)		杖木原原石山とダムサイトに広く分布するAso2材のうち、強溶結部を用いる。
Zone III (半透水性ゾーン)	Aso2MW	杖木原原石山とダムサイトに広く分布するAso2材のうち、中溶結部を用いる。
	Aso2LW	杖木原原石山とダムサイトに広く分布するAso2材のうち、弱溶結部を用いる。
Zone IV (遮水性ゾーン)	Aso3混合	ダム上流右岸(山鹿土取場)に分布する火山灰質粘性土と洪水吐周辺から産出されるAso3(非溶結部)材料をストックヤードにて混合して用いる。
	Aso2混合	ダム上流右岸(山鹿土取場)に分布する火山灰質粘性土と杖木原原石山から産出されるAso2(非溶結部)材料をストックヤードにて混合して用いる。
フィルターゾーン		購入材



業務件名	令和7年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 耳納山麓地区合所ダム他付帯設備耐震性能照査施設選定業務(仮称)		
図面名称	大野川上流地区/大蘇ダム標準断面図		
縮尺		番号	21
会社名			
専業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		